

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
天理市	天理市立櫨本小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- 学校・保護者・地域が協働で課題解決に取り組み、地域の教育力の向上をめざす。
- 活動を通して育まれる所属感や連帯感を基盤にした新たな人間関係を構築し、児童の自尊感情を高め、社会性や規範意識の醸成を図る。

2 取組の概要

- ・ホームページの更新と校長だよりの配布

学校での取組を、できるだけ多くの方に知ってもらい、理解と協力を得るために、できるだけ短期間で学校ホームページを更新するよう努めるとともに、校長だより「あいたいがっこう」を地域へ配布した。



校長だより

- ・登下校時の見守り

毎日の登下校時に通学路の要所において、校区の区長会、長寿会、交通安全協会のボランティアのみなさんに、PTAとともに、交通安全立哨指導の支援をしていただいた。そのおかげで、登下校時における大きな事故やけが、また、不審者による被害もなく、児童は安全に登下校することができた。



登校時の見守り

- ・あいさつ運動

毎月15日、児童会、PTA本部役員とともに、校区の民生児童委員連絡協議会、交通安全協会のみなさんに学校へ来ていただき、あいさつ運動を実施した。3カ所の校門に分かれて立ち、登校してくる児童と、大きな声で「おはようございます」とあいさつをかわした。



あいさつ運動

- ・地産地消の給食

地元で生産されている食材を給食のメニューに積極的に取り入れている。かんぴょう、ぶどう、いちご、ほうれん草など、地元の生産者から、生産についての苦労や喜び、食べ方などを教えてもらったあと、感謝しながら給食をいただいた。



生産者のお話



地産地消給食コーナー



給食のようす

- ・お話会（絵本の読み聞かせ）

天理市お話の会のみなさんによるお話会を全学級で実施。学級ごとに約45分間、ろうそくを灯すなど雰囲気づくりをした教室で、絵本の読み聞かせをしていただいた。



お話会

- ・「はにわ灯火会」

町おこし事業の一環として、はにわ祭り実行委員会主催の「はにわ灯火会」を実施した。灯火会のデザインは、全校児童より募集した中から選ばれる。今年は、2年生児童の「親子ふくろう」に決定。毎年5年生の児童が制作した約800個の円筒はにわと灯火カップを、5・6年生の児童が地域の人たちとともに運動場に並べ、その中にろうそくを灯す。地域の夏の歳時記となっている。



はにわ灯火会

- ・米づくり体験

5年生の児童が米づくり体験に取り組んだ。地域ボランティアと県北部農林の方の指導のもと、6月に田植えを、10月に稲刈りの体験を行った。看板やかかしの「はにワン」(櫛本小学校のマスコット)も設置し、児童のみならず保護者や地域の人たちにも親しまれている。



田植え体験



稲刈り体験



マスコット「はにワン」

- ・校区歴史探検ウォークラリー

2月に、はにわ祭り実行委員会主催の「はにわ祭り」において、5年生が制作した円筒はにわの野焼きを行った。また、校区歴史探検ウォークラリーも実施した。各学年がそれぞれグループごとに、事前に決めておいた校区内の神社仏閣や歴史に関わるポイントを回る際、校区の交通安全協会、民生児童委員連絡協議会、体育協会施設開放運営委員会、シャープ株式会社のみなさんに、児童の安全を見守るために立哨をお願いした。校区長寿会と北中校区の地域コーディネーターのみなさんには、1・2年生のグループの引率をお願いした。各ポイントでは6年生が説明をするのであるが、ポイントによっては、地域の方から説明をしていただいた。

円筒はにわの野焼



ウォークラリー

